

OS交配

●ハウス● 9月～10月定植及び1月中旬以降～3月定植

キュウリ

かね そなえ

兼備1号

650

ウドンコ病
褐斑病
べト病

複合耐病性

●ウドンコ病・褐斑病・べト病に極めて強い ●高品質かつ多収性



株式会社 埼玉原種育成会



かね そなえ
兼備1号 (650)



特性と栽培のポイント

特性

- **ウドンコ病と褐斑病の双方に耐病性。**
 褐斑病:「マジカル2号」「ちなつ」「ゆうみ」「極光」と同等に強い。
 ウドンコ病:低温期には発生することもあるが、高温期には殆ど出ない。
- **分枝性が良くオーソドックスな摘芯仕立てに対応できる。**
 側枝～孫枝と順次発生するが、肥大が良く、流れ果が少ないため
 繁茂せずに安定した収量性を示す。
- **果形の安定性が高く、尻コケ果・尻太果などの発生は極少ない。**

適作型	ハウス:9月～10月定植及び1月中旬以降～3月定植までの作型に適する。
雌花率	主枝 9月～10月定植で40%前後 1月中旬～3月定植で70%前後 側枝～孫枝以降は60～70%となる 1節1～2果成り
草姿・草勢	初期生育はガッチリした草姿・草勢であるが、生育が進むにつれ側枝～孫枝～ひ孫枝と確実に発生する。 常に雌花の肥大を伴いながら発生するため、過繁茂しにくい。
果実	肩から尻までのまとまりが良く、果形・果長の安定性が高い 100gで21～22cm(2号よりやや長め) 濃緑色で光沢良好 食味・食感が良く、店持ち性も良い イボの大きさは普通
収量	初期から末期まで果実肥大が早く、主枝果～側枝果～孫枝果と順次肥大し、流れ果がないため多収穫となる。 各節に2果成りが多く、肥大果が絶えないのが特徴。
耐病性	ウドンコ病・褐斑病の双方に強く、べト病にも強い。

栽培のポイント

最適台木は、OS 交配ゆうゆう一輝黒タイプ・オールスター一輝・FGYが、ブルーム台木では、ウルトラ南瓜・ウルトラG南瓜が良く、高い生産力を発揮させる。



きゅうり・かぼちゃ・メロン 育成元
株式会社 **埼玉原種育成会**
〒346-0105 埼玉県久喜市菖蒲町新堀2616
TEL.0480(85)0854(代) FAX.0480(85)0407



OS交配種子 発売元
株式会社シード
〒346-0105 埼玉県久喜市菖蒲町新堀2616
TEL.0480(85)7211(代) FAX.0480(85)0407